

静岡労働局発表
令和5年6月5日（月）

担
当

厚生労働省静岡労働局職業安定部
職業安定課長 河原崎 佐敏
課長補佐 大嶽 雄二
電話 054-271-9952

ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価のための 令和5年度目標値を設定

静岡労働局（局長 笹 正光）では、令和5年度のハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価を目的として、職業紹介業務の就職件数、求人充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数等の目標値を設定しました。

平成27年度から、ハローワークの機能強化のため、

- ① P D C Aサイクルによる目標管理・業務改善の拡充・推進
- ② ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価の実施及び利用者への公表
- ③ 評価結果等に基づく全国的な業務改善に向けた取組の強化を一体的に実施しております。【別添資料】

このため、令和5年度のハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価を目的として職業紹介業務の就職件数、求人充足件数、雇用保険受給者の早期就職件数等の目標値を設定しました。【別紙】

静岡労働局及び各ハローワークでは、この目標の達成に向けて取り組むほか、中長期的な業務の質の向上や継続的な業務改善を図るとともに、業務の成果や評価結果、業務改善の状況等について利用者にわかりやすく公表することにより、ハローワークに対する信頼の一層の向上に努めることとしています。

なお、令和4年度の各ハローワークのマッチング機能に関する総合評価結果につきましては、結果が確定次第公表することとしております。

静岡労働局における令和5年度マッチング機能の総合評価に係る目標設定等

【主要指標】 マッチング業務のうち特に中核的な業務の成果を測定する業務指標

項目	労働局目標値
就職件数（一般）	33,798件
充足件数（一般、受理地ベース）	32,502件
雇用保険受給者の早期再就職件数	13,270件

【補助指標】 マッチング業務の質を測定する指標

項目	労働局目標値
満足度調査（求人者・求職者）	90.0%

【重点指標】 地域の課題を踏まえ、特に重点的に推進する指標
(ハローワークが特に重点を置く項目として選択する指標)

項目	労働局目標値
生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率	64.6%
障害者の就職件数	3,074件以上
新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等（既卒者含む）の正社員就職件数	4,677件
ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代（35歳～54歳）の不安定就労者・無業者の件数	2,578件
わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合	65.0%
公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数	1,301件
マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	95.1%
人材不足分野の就職件数	6,997件
生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数	1,304件

○【主要指標】マッチング機能に関する指標(全安定所が取組む)

	局計	静岡	浜松	沼津	清水	三島	掛川	富士宮	島田	磐田	富士	下田	焼津
就職件数(一般)	33,798	4,136	6,709	3,776	2,047	3,242	1,820	1,531	2,144	2,574	2,414	798	2,607
充足件数(一般)	32,502	4,616	6,656	3,871	1,958	2,777	1,734	1,258	1,758	2,407	2,339	765	2,363
雇用保険受給者の 早期再就職件数	13,270	1,521	2,693	1,526	822	1,297	727	578	854	1,018	979	213	1,042

○【補助指標】マッチング業務の質を測定する指標(全安定所が取組む)

	局計	静岡	浜松	沼津	清水	三島	掛川	富士宮	島田	磐田	富士	下田	焼津
満足度調査 (求人者・求職者)	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%

○【所重点指標】地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークの規模に応じ、評価対象とする業務・取組を選択して取組む。

静岡公共職業安定所

選択数	障害者の就職件数	新卒者支援対象による就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いた就職氷河期世代(35歳~54歳)の不安定就労者・無業者の件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点対象者の就職率	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
6	404以上	1,543	281	95.1%	885	157

浜松公共職業安定所

選択数	生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率	障害者の就職件数	新卒者支援対象による就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いた就職氷河期世代(35歳~54歳)の不安定就労者・無業者の件数	わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合	公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点対象者の就職率	人材不足分野の就職件数
8	64.6%	738以上	1,333	587	65.0%	258	95.1%	1,524

沼津公共職業安定所

選択数	障害者の就職件数	新卒者支援対象による就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いた就職氷河期世代(35歳~54歳)の不安定就労者・無業者の件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点対象者の就職率	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
6	314以上	515	262	95.1%	827	156

清水公共職業安定所

選択数	障害者の就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いた就職氷河期世代(35歳~54歳)の不安定就労者・無業者の件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
3	173以上	233	78

○【所重点指標】地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークの規模に応じ、評価対象とする業務・取組を選択して取組む。

三島公共職業安定所

選択数	新卒者支援対象による就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いた就職氷河期世代(35歳~54歳)の不安定就労者・無業者の件数	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
4	248	232	641	142

掛川公共職業安定所

選択数	障害者の就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いた就職氷河期世代(35歳~54歳)の不安定就労者・無業者の件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
3	184以上	174	79

富士宮公共職業安定所

選択数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いた就職氷河期世代(35歳~54歳)の不安定就労者・無業者の件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
2	82	51

島田公共職業安定所

選択数	障害者の就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いた就職氷河期世代(35歳~54歳)の不安定就労者・無業者の件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
3	164以上	138	75

磐田公共職業安定所

選択数	新卒者支援対象による就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いた就職氷河期世代(35歳~54歳)の不安定就労者・無業者の件数	公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数
3	140	186	69

富士公共職業安定所

選択数	生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率	障害者の就職件数	新卒者支援対象による就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いた就職氷河期世代(35歳~54歳)の不安定就労者・無業者の件数
4	64.6%	182以上	182	161

下田公共職業安定所

選択数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いた就職氷河期世代(35歳~54歳)の不安定就労者・無業者の件数	人材不足分野の就職件数
2	39	120

焼津公共職業安定所

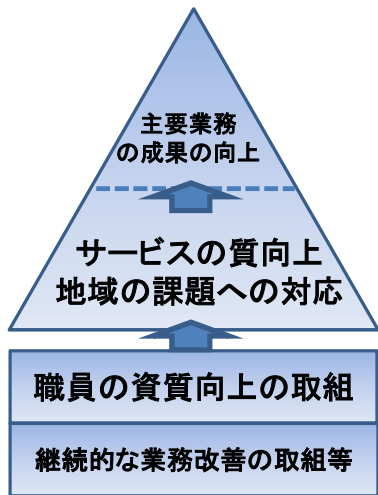
選択数	障害者の就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いた就職氷河期世代(35歳~54歳)の不安定就労者・無業者の件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
3	253以上	203	110

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）【別添資料】


ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組(就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→主要指標の実績を毎月、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。
 重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
 - ①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導(評価期間終了後)
 - ③好事例は全国展開(評価期間終了後)
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

全ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

(1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職件数
- 求人充足件数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査(求人者・求職者)

ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

(1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率
- 障害者の就職件数
- 人材不足分野の就職件数 など

(2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況を評価

- 職員による事業所訪問の実施
- 職員による求職者担当制の実施
- 職員による計画的なキャリアコンサルティング研修の受講
- 新規等求人の開拓 など

ハローワークマッチング機能に関する業務の評価・改善の流れ

1 ハローワークごとに主要指標の目標値の設定及び所重点指標を選択

- 主要指標(「就職件数(一般)」「求人充足件数(一般)」「雇用保険受給者の再就職件数)」の目標設定
- 所重点指標の選択及び目標値の設定(※労働局とハローワークで協議のうえ設定)
- 設定した目標値等について公表



2 総合評価の実施と実施状況の公表

- ハローワークごとの「主要指標」の実績を毎月公表



3 総合評価結果の公表

- ハローワークごとに「マッチングの成果」「総合評価の結果」「各種取組の結果・業務改善の実施状況」等をまとめ、公表



4 業務改善の取組

- 業務の改善が必要と認められるハローワークについては、業務改善計画を策定。労働局による重点的指導を実施
- マッチング機能の全国的な向上を目的として労働市場の特性等が類似したハローワーク間で効果的な取組の共有や意見交換等による業務改善を促進